



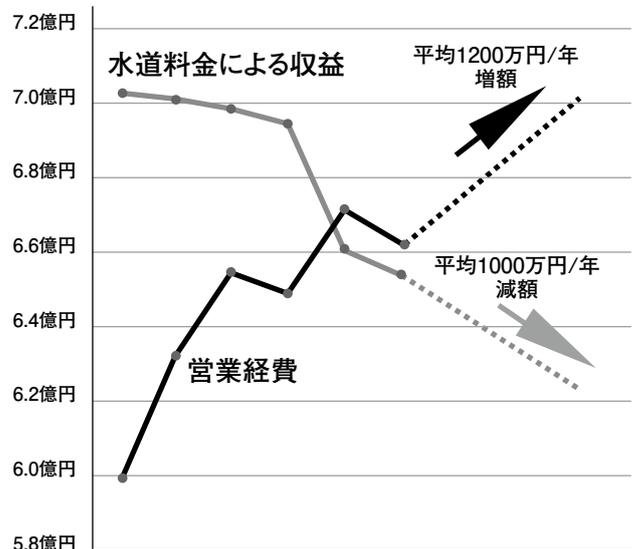
第1回、第2回と庄原市の上下水道の現在の財政状況をお知らせしました。これを踏まえて、今回は今後の上水道の展望と経営改善の取り組みについてお知らせします。

財政状況から見る水道事業の今後の展望

水道事業では、水道使用量が年々減少しており、主な収入である水道料金による収益が減少傾向にあります。逆に、水道水をつくるために必要な電気代や薬品費と、施設故障への対応のための修繕費が年々増加しているため、営業経費は増加傾向にあります。こうした状況が続けば水道事業は赤字経営となり、いずれは事業運営資金である現金預金（内部留保金）が底をつき、事業経営の継続が難しい状況を迎えることとなります。



■ 水道事業における水道料金収益と営業経費の推移



※H26の営業経費は減価償却費に係る長期前受金戻入を差し引いています。
 ※H26より後の推計額は過去5年前からの平均増減額によります。

経営改善の取り組み ～安定した水道事業サービスのために～

【水道事業の取り組み】

水道事業では、長期的な計画として庄原市地域水道ビジョンを策定し、安定した事業経営の継続と安全安心な水道の安定供給、豊かな水資源の保護を目標として、各取り組みを推進していきます。

効率的な施設維持管理を目指す 《水道施設の再編と既存施設の改良》

減少傾向にある水道水の使用量に対応するため、水道水をつくる能力がどのくらい必要なのかを的確に把握し、電気代や薬品費といった水道水をつくるための経費を抑えることができるように、施設の縮小や休止を含め、水道施設の再編や改良を実施します。また、施設機器の適正な点検を継続し、機器の使用状況に応じて、施設を整備した時点で設定していた次の施設更新までの期間を、より長い期間に見直すことにより施設の更新経費を抑えます。

安全安心な水道水供給環境を確保 《運営基盤と非常時対応の強化》

緊急時のバックアップとして、1つの浄水場から水道水を送る給水地域の範囲を越えて、隣接する給水地域と水道管で接続することで、複数の浄水場から水道水を送ることが可能な給水環境をつくるなどの検討を行います。また、大規模な地震が発生した時に必要な水道水を送れる環境を確保するため、施設更新時にはより耐震性をもたせた水道施設、水道管へと更新していきます。

